

平成20年度 長期給付積立金の運用状況

1 本連合会における長期給付積立金の運用

本連合会は、年金給付を円滑に行っていくために必要な総合収益の確保を目的として、安全かつ効率的な方法により運用を行うため、「長期給付積立金に関する基本運用方針」を定め、長期的な観点から策定した基本ポートフォリオ(※)に基づく資金運用を行っています。

ただし、平成21年度までの間は移行期間と位置付けて、年度ごとに策定する移行ポートフォリオに基づき運用を行うこととしております。

※ 基本ポートフォリオとは、債券や株式のように特性の異なる複数の資産に分散投資し、リスク(*1)の水準をコントロールしながら、時価ベースの総合収益(*2)を確保するため、長期的な観点から資産構成割合を定めたもの

*1 リスク……収益率の変動の程度

*2 総合収益……時価(市場において、債券や株式が売買される価格)で算出した収益のことで、実現収益(実際に収入された収益)に未収収益(未だ収入されてはいないが発生している収益)の増減額と評価損益(取得時の価格である簿価と評価時の価格である時価の差)の増減額を加えて算出

2 資産構成の状況

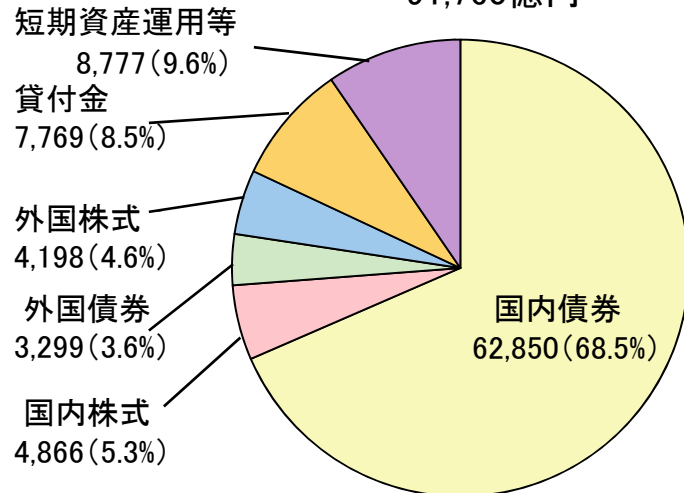
(単位:億円) (参考)

	平成20年度末					(参考)平成19年度末					平成20年度 移行ポートフォリオ		基本ポートフォリオ (平成22年度以降)	
	時価総額(※)		簿価		評価 損益	時価総額(※)		簿価		評価 損益	中心値	許容乖離幅	中心値	許容乖離幅
		構成比		構成比			構成比		構成比					
国内債券	62,850	68.5%	61,681	62.6%	1,001	63,671	65.1%	63,013	63.3%	496	61%	±7.5%	61%	±7.5%
国内株式	4,866	5.3%	8,695	8.8%	△ 3,890	7,081	7.2%	8,438	8.5%	△ 1,428	9%	±3.5%	9%	±3.5%
外国債券	3,299	3.6%	3,618	3.7%	△ 365	2,144	2.2%	2,143	2.2%	△ 23	2%	±2.0%	4%	±2.0%
外国株式	4,198	4.6%	7,979	8.1%	△ 3,792	6,952	7.1%	7,991	8.0%	△ 1,058	8%	±3.5%	9%	±3.5%
貸付金	7,769	8.5%	7,769	7.9%	0	8,991	9.2%	8,991	9.0%	0	12%	±6.0%	12%	±6.0%
短期資産運用等	8,777	9.6%	8,777	8.9%	0	9,029	9.2%	9,027	9.1%	△ 1	8%	+2.0% -3.0%	5%	±2.0%
合計	91,760	100.0%	98,518	100.0%	△ 7,046	97,868	100.0%	99,603	100.0%	△ 2,015	100%	—	100%	—

※時価総額…時価に未収収益を含めた額

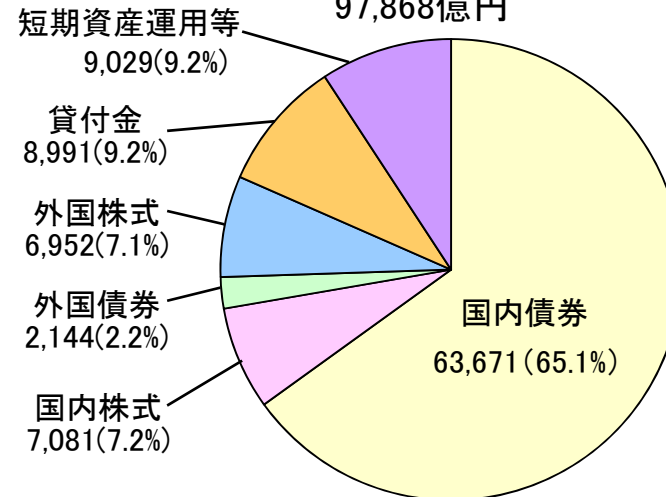
<平成20年度末時価総額>

91,760億円



<平成19年度末時価総額>

97,868億円



3 運用利回りの状況

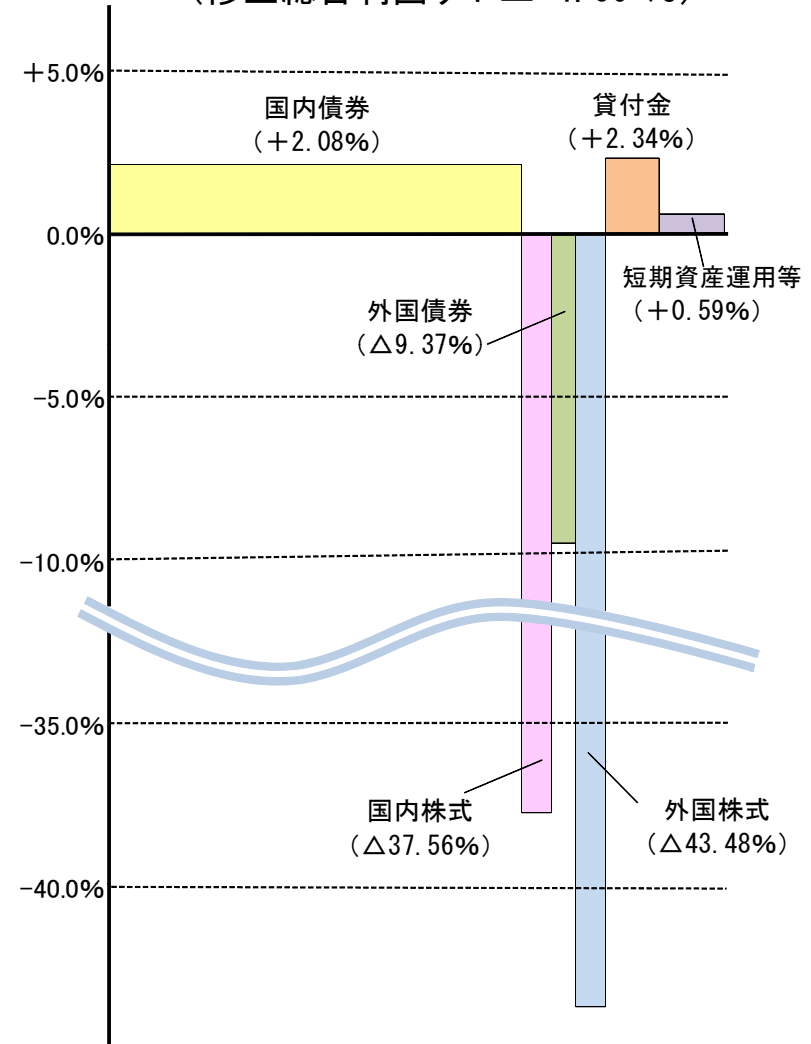
<運用利回り>

	平成20年度	(参考) 平成19年度
修正総合利回り	△4.60%	△1.57%
総利回り	+0.65%	+1.54%

<修正総合利回りの資産区分別内訳>

	平成20年度	(参考) 平成19年度
国内債券	+2.08%	+3.09%
国内株式	△37.56%	△31.81%
外国債券	△9.37%	△0.57%
外国株式	△43.48%	△28.11%
貸付金	+2.34%	+2.05%
短期資産運用等	+0.59%	+0.56%

(修正総合利回り : △ 4.60%)



$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}}{\text{簿価平残} (*) + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}} \times 100 (\%)$$

$$\text{総利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減}}{\text{簿価平残} (*)} \times 100 (\%)$$

* 簿価平残… 期中の簿価残高を積算したものを期中の日数で割った額

4 委託運用機関の状況

平成20年度末

ファンド種別		委託運用機関
国内債券	アクティブ	大和住銀投信投資顧問
		野村アセットマネジメント
		みずほ信託銀行
	パッシブ	三井住友アセットマネジメント
		りそな銀行
		野村アセットマネジメント
国内株式	アクティブ	みずほ信託銀行
		三菱UFJ信託銀行
		アライアンス・バーンスタイン
		AIGインベストメンツ
		ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
		JPモルガン・アセット・マネジメント
		ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
		住友信託銀行
		ソシエテ ジェネラル アセットマネジメント
		DIAMアセットマネジメント
		大和住銀投信投資顧問
		中央三井アセット信託銀行
	東京海上アセットマネジメント投信	
	パッシブ	みずほ信託銀行
		三井住友アセットマネジメント
		三菱UFJ信託銀行
		りそな銀行
		中央三井アセット信託銀行
みずほ信託銀行		
外国債券	パッシブ	住友信託銀行
		りそな銀行
		みずほ信託銀行
外国株式	アクティブ	アクサ・ローゼンバーク証券投信投資顧問
		アライアンス・バーンスタイン
		エムエフエス・インベストメント・マネジメント
	パッシブ	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
		ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
		住友信託銀行
委託運用機関の純計		18社

※ アクティブ運用とは、ベンチマーク(市場全体の動向を表す指数)を基準としつつも、銘柄構成やその時価構成割合をベンチマークと異なるものとするにより、ベンチマークを上回る運用収益を目指すもの

※ パッシブ運用とは、銘柄構成やその時価構成割合をベンチマークと同様にすることにより、ベンチマークと同程度の運用収益を目指すもの